

使い捨て感覚の
捨てない習慣

Circloop



こんなこと起きていませんか？

コーヒーサーバーで毎日大量の紙コップが消費されている



マイボトルが定着せず、ペットボトルが持ち込まれている



ごみが出続ける、サステナブルではない環境

Circloopがリユースで解決します

カップの洗浄、
配送、回収を
フルサービスで

発注や管理の手間
なく資源循環達成

カップを手にと
って、飲んだら
返すだけ

使い捨てと
変わらない気軽さ

ダッシュボード
で環境負荷削減
効果を可視化

使い捨てコストが
サステナ投資に

Circloopご利用イメージ

使う人
(使って返すだけ)

Circloop
(回収～洗浄～配送はおまかせ)

使う



返す



回収



洗浄・乾燥*



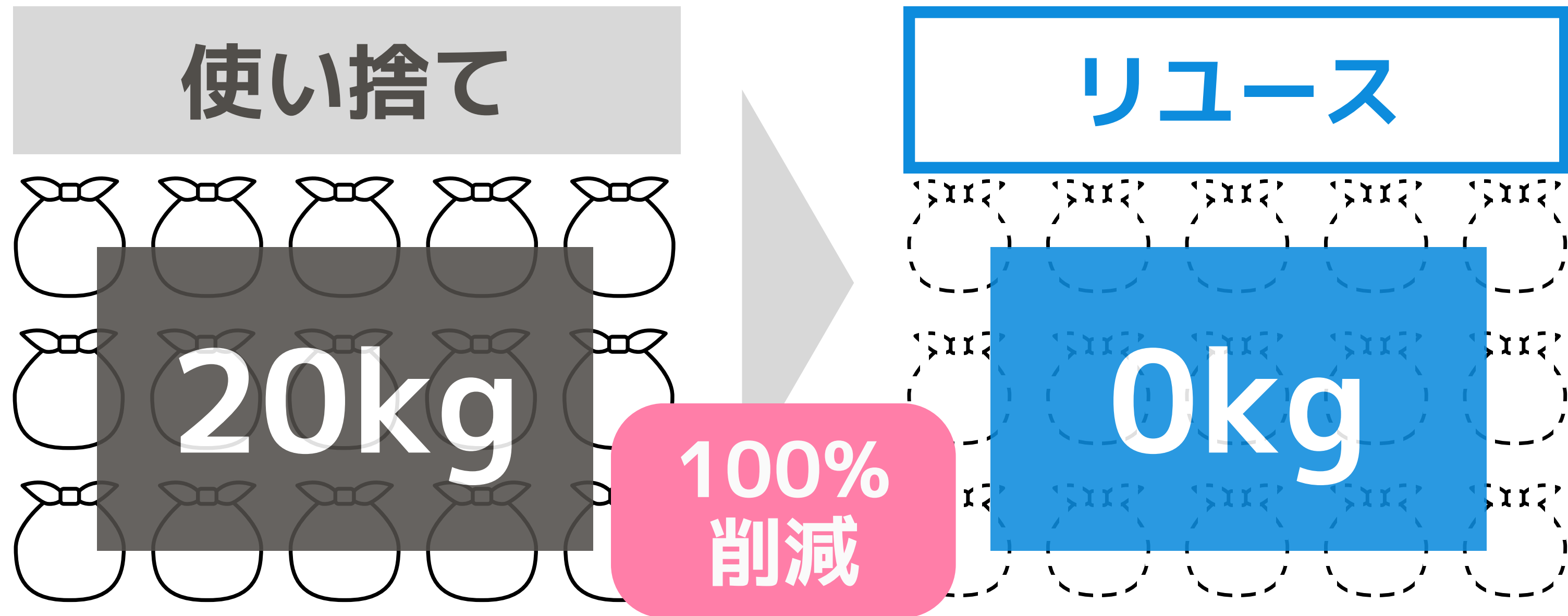
配送



※洗浄・乾燥および検品は「リユース食器ネットワーク」が制定した「リユース容器の衛生管理に関する自主ガイドライン」に沿って実施しています。

Circloop導入による環境負荷削減効果

廃棄物の削減(月間)*

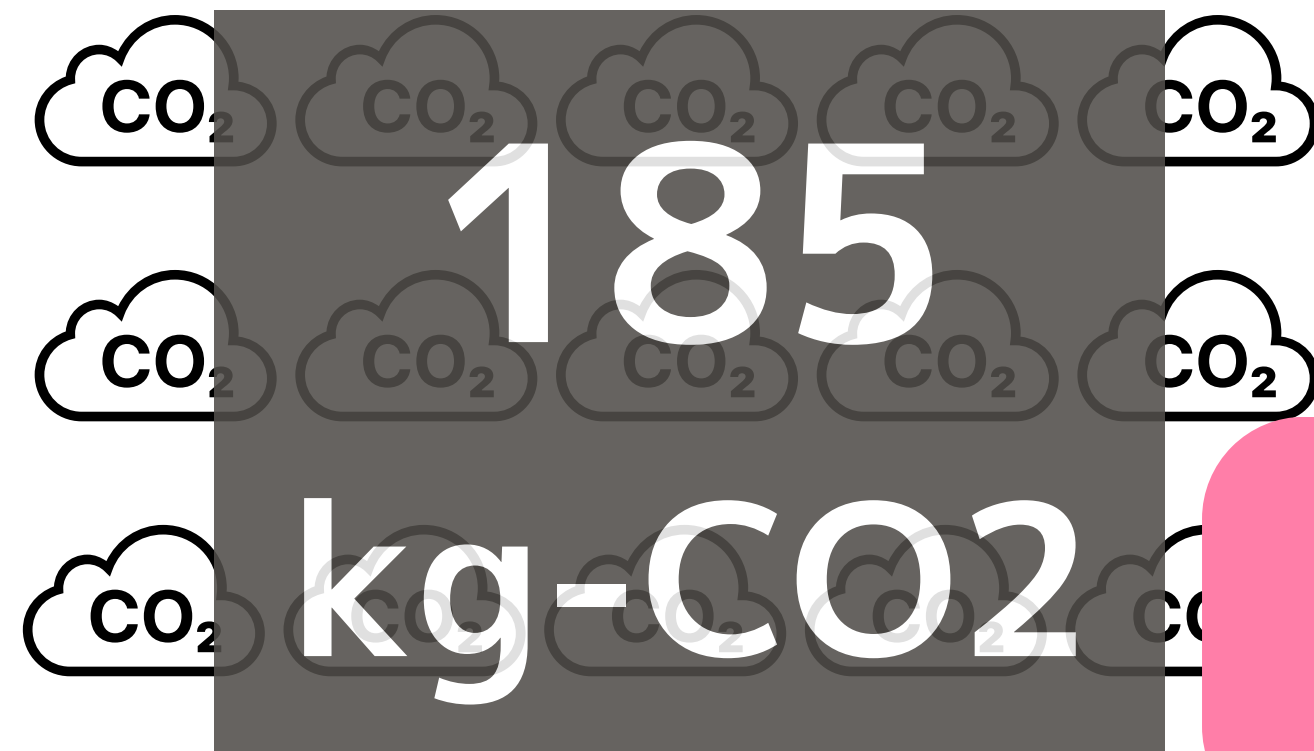


*1日200個のリューザブルカップを利用した場合。
同様の数の使い捨て紙コップを使用した場合との廃棄物量を比較。

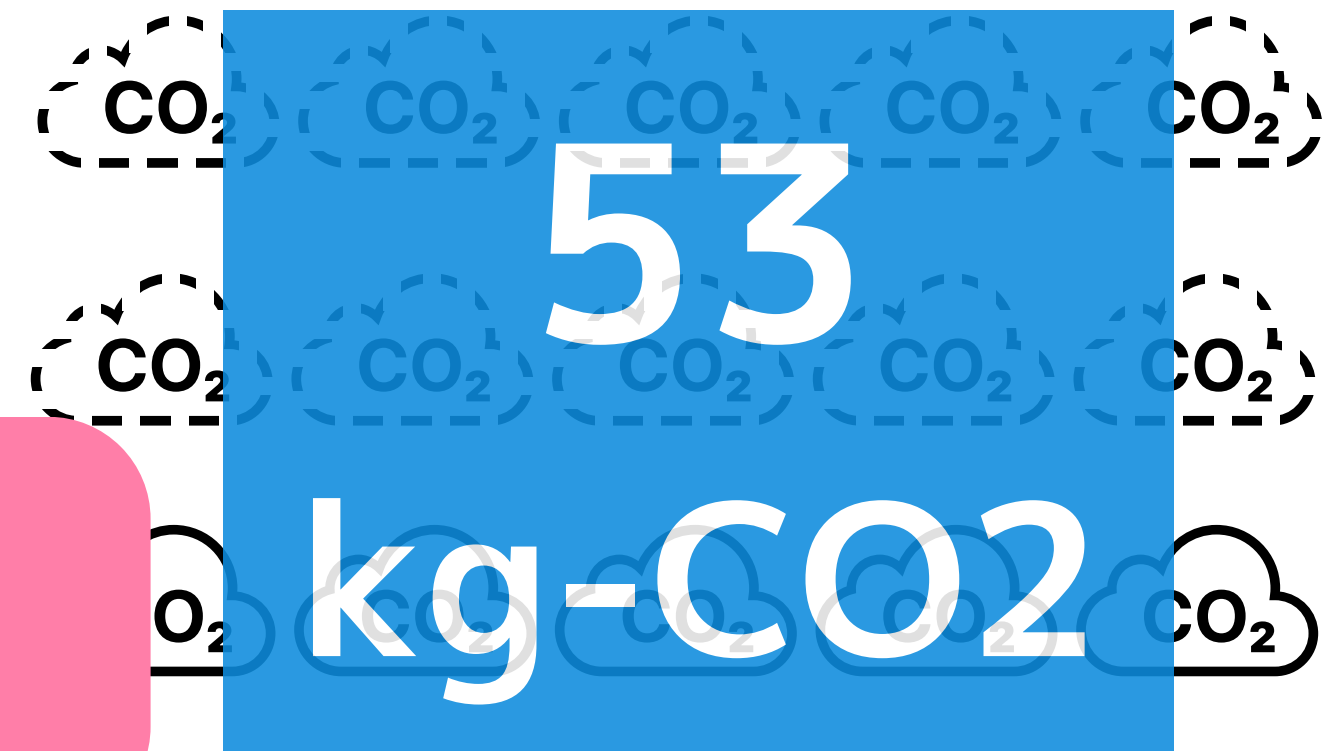
Circloop導入による環境負荷削減効果

GHGの削減(月間)*

使い捨て



リユース



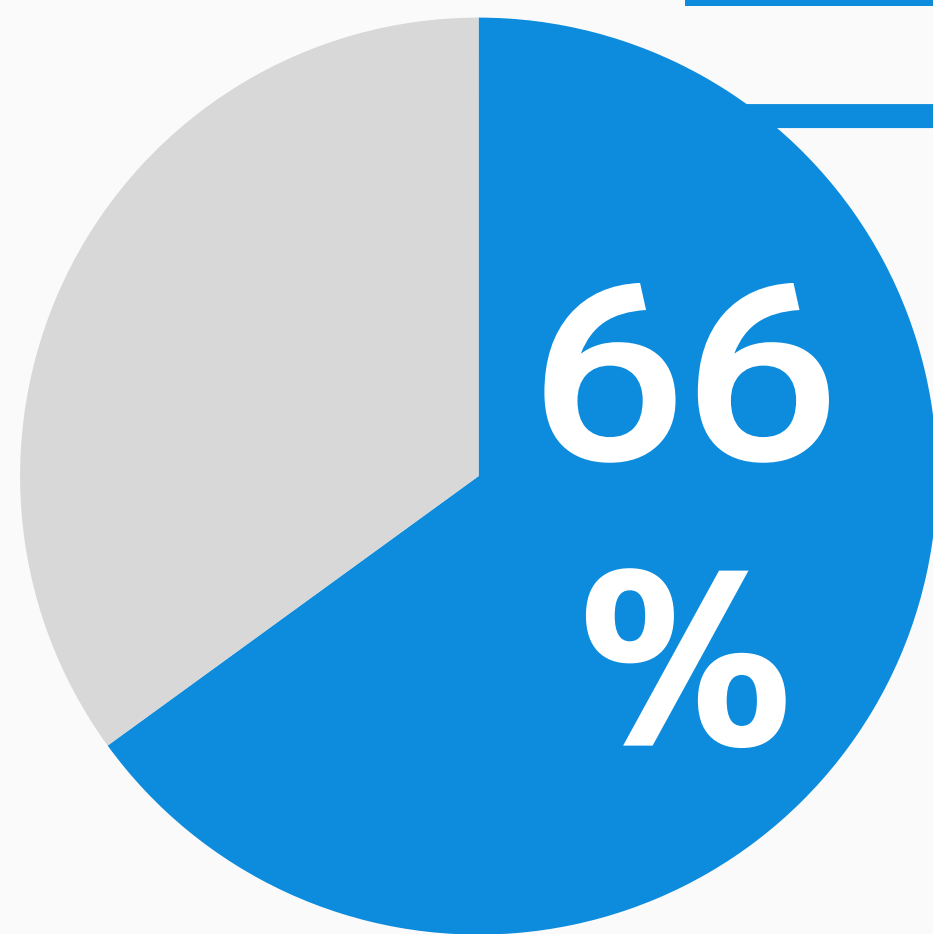
71%
削減

*1日200個のリユーズブルカップを利用した場合。
同様の数の使い捨て紙コップを使用した場合との「製造～輸送～廃棄」を対象としたGHG排出量を比較。

Circloop導入による利用者の変化

環境意識の変化*

環境への意識、行動が変わった人の割合



「ごみを出しているという
罪悪感を持たずにすむ」

という声

*弊社実施利用者アンケート(N=50)より

Circloop導入による利用者の変化

行動の変化(1日のカップ利用数)*

使い捨て



40%
削減

リユース



*弊社顧客実績より(使い捨て→リユース切り替え前後で40%の使用数削減)

ユーザーが感じるCircloopの心地よさ

ちょっとしたこと
なんだけど
いいことをした
気分になれる

やらされ感なく
エコなアクション
ができる

みんなで
取り組んでいる
一体感を感じる



サステナブルな活動のPRにも

サステナビリティ事例
として自社HPで紹介

懇親会などイベントで
活用、取組みアピール

キンコーズ田町店様

テレビ朝日映像様



Circloopがリユースの定着をサポート

環境負荷削減ダッシュボードでの発信

活用インタビューの実施、事例として紹介



導入事例

サステナブルコスメアワード2025@x Bridge

イベントの細部までサステナブルに。
安全なイベント運営にも貢献

業種：コスメ（イベント） 参加人数：〇〇人
導入内容：コスメアワードイベント内にて利用

●ご依頼の背景
イベント運営において、ごみの量が非常に多いことに課題を感じており、ごみが出ないという驚きを参加者に体験してもらいたいと考え導入

●使用して感じたメリットとは
紙コップと比べてコーヒー本来の味を楽しめると利用者やバリスタから好評でした。実際にごみがなくなるだけでなく、使用感もよかったのがポイントです。カップの返却もスムーズに行うことができました。

●ご担当者様の声
紙コップと違って、罪悪感なく飲み物によってカップを変えられる点が非常に良かったです。今後は、ポップなデザインの返却ボックスや、ビール用の透明カップも使えると嬉しいです。（写真左：北村さん）
立食形式のイベントにおいて、サークルの食器は割れる心配がなく、軽くて持ち運びやすいため、参加者の負担が非常に少なかったのが良かったです。イベントの安全も確保できたと感じました。（写真右：春名さん）

実際にご利用いただいた場面

Two photographs showing the use of Circloop cups at an event. The left photo shows a stack of white cups with the Circloop logo. The right photo shows a person using a cup at a food station.

Two circular portraits of the event organizers, a woman on the left and a man on the right.

Circloopをご利用いただいているお客様

コワーク・シェアオフィス



&WORK STYLING



CityLab
TOKYO



企業内での導入

テレビ朝日映像



オフィスカフェ運営



自治体(連携協定)



しあわせ
多彩区
Shinagawa City

お手頃な価格でサステナビリティ向上を実現

ランニング費用

(利用～回収～洗浄～配送で1サイクル)

カップ

フタ

1回利用あたり14円。トライアル価格でお得に効果を実感*

14円/回

トライアル

10円/回

5円/回

トライアル

3円/回

使い捨てと同等の費用で導入が可能

毎月の利用額イメージ*

容器代34,000円

4,000個×8.5円

利用料33,600円

2,400個×14円

使い捨て容器

Circloop

同等のコストで環境負荷を大きく削減

*弊社顧客実績を元に試算(使い捨て→リユース切り替え前後で40%の使用数削減)

オリジナルデザインのカップでブランド力向上も

カップ製造費用

(製造ロットにより変動)

270ml

(9オンス)

450ml

(15オンス)

オリジナルデザインのカップで
リユースをブランド力に*

500円～

/個

550円～

/個

製作事例



&WORK STYLING

kinko's
On Demand Solutions



*デザインに応じた版代が別途発生します(要見積)

Circloopの標準カップを利用いただく場合はカップ製造費用は発生しません

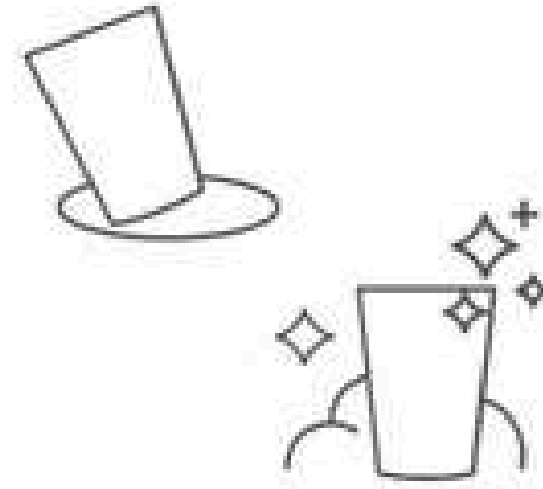
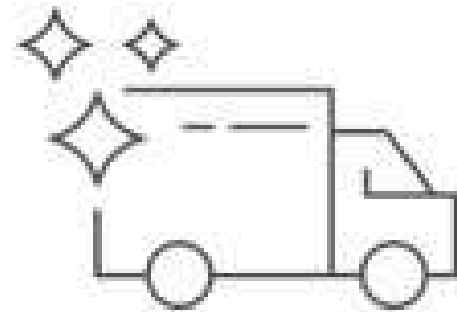
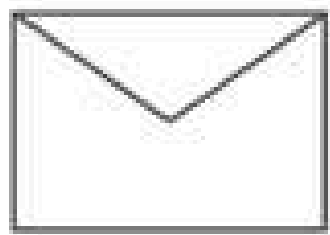
サービス導入までの流れ

お問い合わせ

セットアップ

トライアル

本格導入



最適な
導入プランを
ご提案

お申し込み後
1週間で
利用可能

2か月
トライアルで
効果を実感

本格展開は
オリジナル
カップで

補助事業の成果

補助事業を活用した取り組み

- 事業名

- オフィス、コワーキングスペースを中心としたリユーズブル容器サービスの拡大に向けた基盤整備

- 事業概要

- リユーズブル容器サービスの利用拡大を通じて使い捨て容器(プラカップ、紙コップなど)の利用、排出削減を実現する。本事業では洗浄インフラの拡充、機能強化を行い、より多くのリユーズブル容器を効率的に処理できる基盤づくりを行う。

洗淨インフラの拡充、機能強化

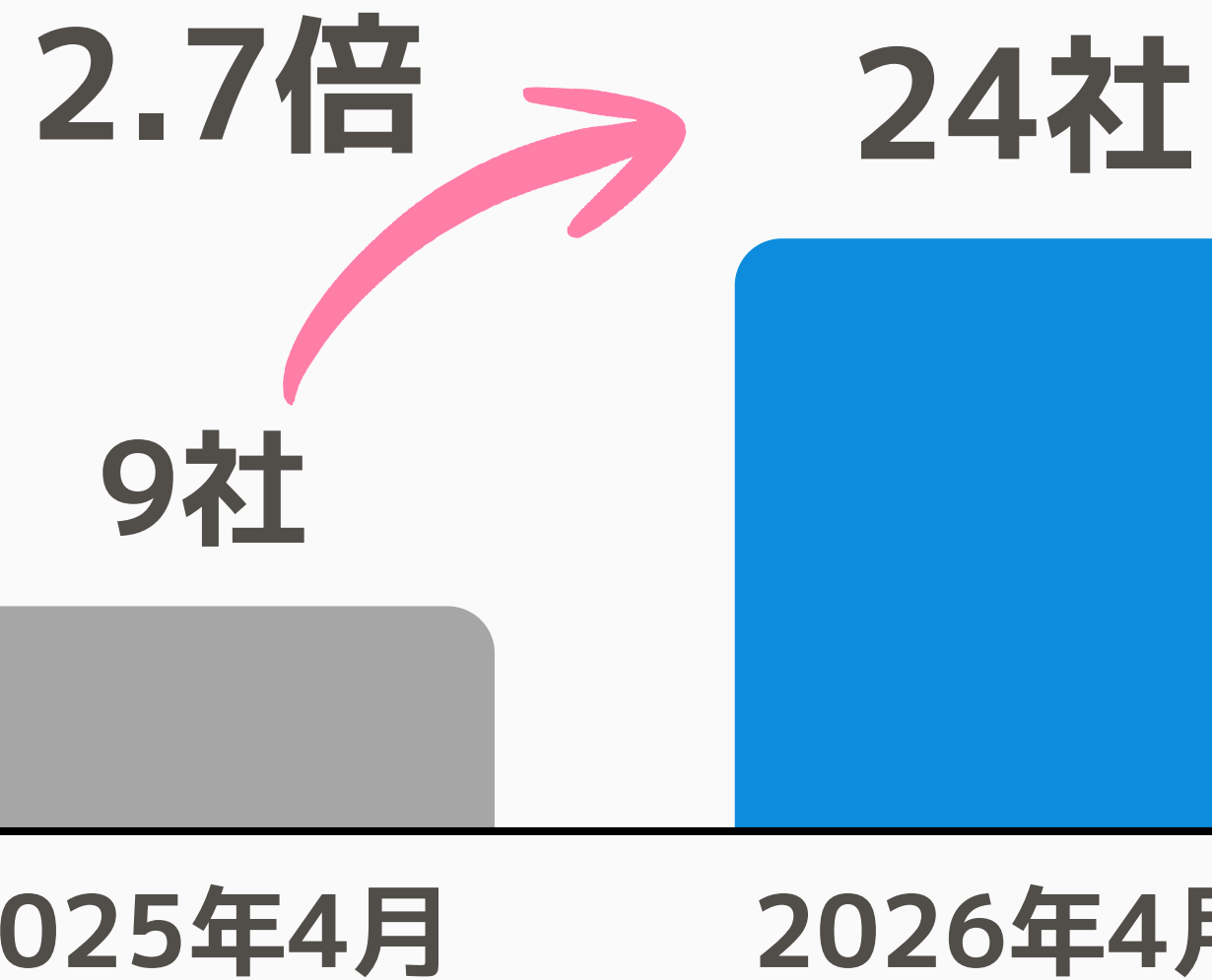
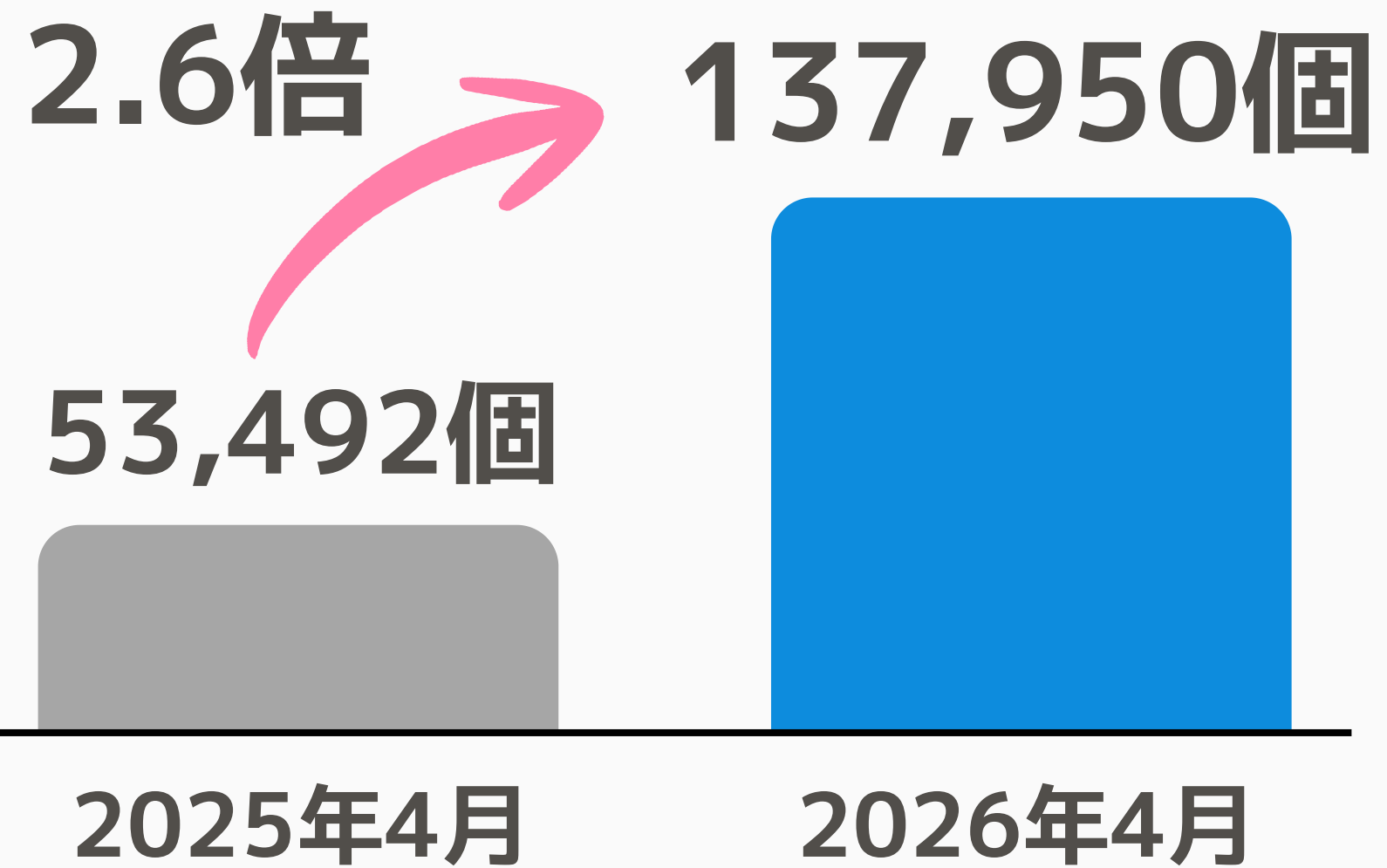
洗淨～乾燥までを一気通貫で行う食器洗淨機を導入



サービス利用数が前年比2.6倍に拡大

月間利用数

顧客数



使い捨て容器ゼロチャレンジ

日本では毎年230万トン*もの使い捨て容器が使われています、そのリサイクル率は22%程度**にとどまる計算です。

2019年に策定された「プラスチック資源循環戦略」では「2030年までに容器包装の6割をリユース・リサイクル」というマイルストーンが設定されています。つまり、40%の向上が必要で2030年まで待ったなしの状況にあると言えます。

そこで様々な企業・団体とCircloopが一丸となり、「繰り返し使えるリユーズブル容器のシェアリングサービス」の拡大を通じて、リユース率の40%向上を目指す「使い捨て容器ゼロチャレンジ」を発足します。

「使い捨て紙コップ、プラカップ」を「リユーズブルカップ」に置き換えていくことを皮切りにリユーズブル容器をあたりまえにしていきます。

捨てなくていい心地よい空間を作りませんか？

使い捨て感覚の
捨てない習慣

Circloop

